

JBMS

電子式金銭登録機用語

JBMS-18-₂₀₀₁

(2023 確認)

平成13年12月改正

社団法人 日本事務機械工業会

まえがき

この規格の一部が、技術的性格を持つ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。社団法人 日本事務機械工業会は、このような技術的性格を持つ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかる確認について、責任はもたない。

流通情報システム機器部会POS技術分科会委員構成表

(分科会長)	松 本 良 男	カシオ計算機株式会社
	斎 藤 義 弘	東芝テック株式会社
	内 田 輝 実	シャープ株式会社
	岩 本 吉 彦	シャープ株式会社
	黒 崎 政 和	東芝テック株式会社
	岨 下 哲哉	富士通株式会社
	島 田 俊 次	富士通株式会社
	佐々木 茂	東和メックス株式会社
	南 雲 洋 人	東和メックス株式会社
	中 村 孝	オムロン株式会社
	湯 浅 博 実	オムロン株式会社
(事務局)	小 柴 正 晴	社団法人 日本事務機械工業会

標準化センターJBMS推進小委員会委員構成表

(委員長)(旧)	田 迂 隆	株式会社リコー
(委員長)(新)	佐 藤 信 弘	キヤノン株式会社
(委員)(旧)	小 牧 徹	キヤノン株式会社
(旧)	高 木 俊 雄	ミノルタ株式会社
	高 野 正 治	東芝テック株式会社
(新)	望 月 陽	富士ゼロックス株式会社
	田 中 健 二	シャープ株式会社
(新)	内 野 利 夫	株式会社リコー
(事務局)	小 林 繁 雄	社団法人 日本事務機械工業会

規格番号 : JBMS-18

制 定 : 昭和52年11月 1日 (原案 : 金銭登録機部会ECR用語標準化分科会)

改 正 : 平成13年12月 7日

原案作成 : 流通情報システム機器部会・技術分科会

審 議 : (社)日本事務機械工業会 標準化センター JBMS推進小委員会

制 定 : (社)日本事務機械工業会 標準化センター

この規格についてのご意見又は質問は社団法人日本事務機械工業会 標準化センターへお願い

致します。〒105-0001東京都港区虎ノ門1-21-19 秀和第2虎ノ門ビル Tel 03-3503-9821

目次

1. 適用範囲	1
2. 分類	1
3. 引用規格	1
4. 用語・読み方・用語の意味	1
4.1 名称	1
4.2 登録・訂正	2
4.3 キーボード	4
4.4 表示	6
4.5 印字	7
4.6 合計器	8
4.7 ドロア・キャビネット	9
4.8 システム, 周辺機器, 規格・単位	10
4.8.1 システム	10
4.8.2 周辺機器	14
4.8.3 規格・単位	16
4.9 その他	19
解説	20

日本事務機械工業会規格

JBMS-18-2001
(2023 確認)

電子式金銭登録機用語

Glossary of Terms Relating to Electronic Cash Registers

1. 適用範囲 この規格は JIS B 0117（事務機械用語）の分類4103に規定する電子式金銭登録機及びその周辺に関する用語について規定する。

2. 分類 電子式金銭登録機の用語は、次のように分類する。

(1) 名称	1001-1004
(2) 登録・訂正	2001-2045
(3) キーボード	3001-3032
(4) 表示	4001-4010
(5) 印字	5001-5030
(6) 合計器	6001-6026
(7) ドロア・キャビネット	7001-7018
(8) システム、周辺機器、規格・単位	8001-8233
(9) その他	9001-9005

3. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS B 0117 事務機械の用語 (JMMS-45 事務機械の名称) 1997確認

JIS B 0115 電子式金銭登録機の用語 (JBMS-18) 1997確認

JIS B 9510 電子式金銭登録機の仕様書様式 1995

4. 用語・読み方・用語の意味 用語、読み方及び用語の意味は、次のとおりとする。

なお、参考として対応英語を示す。

4.1 名称

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
1001	電子式金銭登録機	取引の記録、演算、金銭管理などを電子的操作で行う機械。情報の収集及び分類集計機能を備えたものもある。 備考：電子レジスタ又はECRともいう。	Electronic Cash Register (ECR)
1002	独立型電子式金銭登録機	単独で機能する電子式金銭登録機。	Electronic Cash Register (Stand Alone Type)
1003	システム型電子式金銭登録機	システムを構築できる電子式金銭登録機。	Electronic Cash Register for System Use
1004	POSターミナル	スキヤナなどをもち、ストアプロセッサなどと接続して单品情報管理を行うための端末機。	POS Terminal

4.2 登録・訂正

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
2001	登録	売上金額、部門別、取引別の区分などを登録機に入力し、その処理内容の表示や印字などをする一連の動作。(例えば、売上、訂正、入金、支払など)	Registration
2002	部門登録	あらかじめ、割り振られた分類(部門)ごとに商品の登録をすること。	Department Entry
2003	単品登録	1件だけの商品の金額と記号を登録すること。	Single Item Entry
2004	明細登録	個々の商品の金額と記号を登録し、内部で集計すること。	Itemized Entry
2005	乗算登録	複数の同一商品の登録を乗算により行うこと。	Multipication Entry
2006	リピート登録	複数の同一商品の登録を、金額の入力を省略して繰り返し行う操作。	Repeat Entry
2007	プリセット登録	あらかじめ決められている数値(単価、料率など)を簡便に入力するために、その数値をメモリに記憶させ、簡単なキー操作でこれを読み出して行う登録。	Preset Entry
2008	PLU登録 (プライスルック アップ登録)	あらかじめメモリに記憶された商品コードを入力することにより、商品名、部門番号、単価などを読み出して行う登録。	Price Look Up (PLU)
2009	プリセットオープン 登録	プリセット内容を一時的に解除し、金額または料率を入力して行う登録。	Preset Open
2010	直前訂正	直前に登録した誤登録の内容を取り消すこと。	Last Item Correction
2011	指定訂正	一取引の中で、既に登録された誤登録の内容を任意に指定して取り消すこと。	Previous Item Void
2012	返品登録	返品の登録。	Return
2013	取引終了後訂正 (レジマイナス)	取引終了後に誤登録の内容を取り消すこと。取引全体を取り消す方法と誤登録のみ取り消す方法がある。	Register Minus /Transaction (Item)Void
2014	ボトルリターン登録	ビン代などの返金に用いる登録。	Bottle Return
2015	値引き登録	売上金額に対しての値引き額の登録。部門登録に対しての値引きと小計額に対しての値引きがある。	Discount
2016	割引き登録	売上金額に対しての割引額の登録。部門登録に対しての割引きと小計額に対しての割引きがある。	Percent Minus
2017	単品売上登録	単一商品売上時、部門登録と売上登録を一方のみの操作により、一括して処理する方式。	Single Item Sales
2018	明細売上登録	明細登録、及びこれに続く売上操作までの一連の登録。	Itemized Sales
2019	取引登録	商品を登録後、支払い形態に応じて行う売上の締め操作。	Finalize
2020	現計登録	商品登録後、現金支払いのとき行う売上の締め操作。	Cash Sales
番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
2021	預り登録	現金支払い時、預り金を入力し、つり銭額を自動算出するための操作。	Amount Tender

2022	掛計登録	商品登録後、掛売りときに行う売上の締め操作。	Charge Sales
2023	信計登録 (カード売上登録)	商品登録後、信用売り(カード売り)のときに行う売上の締め操作。	Credit Sales
2024	万券登録	一万円札による支払時、操作を簡略化するために専用キーにより入力する登録。通常預り登録で使用。	—
2025	クーポン登録	クーポン券などにより、売上金額に対しての受領の登録。	Coupon
2026	複合取引登録	一取引の中で、支払い方法が現金、クレジットカード、クーポン、サービス券及び掛売などの組合せの場合、取引別金額、及び取引総額を明示した1枚の領収書を発行する登録。	Split Tender
2027	人数登録 (客数登録)	飲食店などでの税金計算のため、登録時に人数を入力すること。	Number of Person (Guest)
2028	客層登録	顧客の年齢層、性別、職業等を区分して登録すること。	Customer Data Entry
2029	奉仕料登録	明細登録後、設定された料率で奉仕料を計算すること。通常は、税金計算と同時に自動算出される。	Service Charge
2030	税金登録	税率、免税点などをあらかじめプリセットしておき、明細登録後、税金額を計算すること。 通常は、奉仕料計算と同時に自動算出される。	Tax Charge
2031	前残登録	前回の繰越額を入力し、継続処理させるための登録。 繰越額により、前残十、前残一に分かれる。	Previous Balance
2032	前受金登録	あらかじめ前受金などの名目度預かった金額を入力し、以降の登録内容から、その金額を減算するための登録。	Deposit
2033	繰越登録	登録内容を以降に繰越すための仮締め操作。	Transfer
2034	両替登録	両替のために、ドロアを開く操作。	No Sale
2035	不可算登録	入力数値を合計に加算しない登録。コード番号の登録などに用いる。	Non Add
2036	入金登録	ドロア内の現金在高などを把握するために、入金額を入力する操作。	Received on Account
2037	支払登録	ドロア内の現金在高などを把握するために、支払金額を入力する操作。	Paid Out
2038	つり銭準備金登録	現金売上時の釣銭などのため、準備金ドロア内に収納するときに、その金額を入力し、ドロア内の現金在高などを明確にするための操作。	Loan
番号		用語	用語の意味
2039	回収金登録	売上途中で売上額の一部を回収するときに、その金額を入力し、ドロア内の現金在高などを明確にするための操作。	Pick Up

2040	置数制限	誤登録防止のため、入力の桁数または金額を制限すること。	Listing Limit
2041	割込み登録	現在の売上登録を一時保留し、他の登録を割り込ませること。	Overlap
2042	消費税計算	登録した商品に、消費税を明示するため、あらかじめ設定されている税率で消費税の計算をすること。 通常は締め操作時に自動的に算出される。	Consumption Tax
2043	一括訂正 (取引中止)	一取引の登録途中に、その取引全体を一括に取り消すこと。	All Cancel
2044	伝票番号登録	あらかじめ指定されている伝票の番号を登録すること。	Slip Number Entry
2045	スキャニング登録	商品を登録する際、スキヤナによりその商品のバーコードなどを走査(スキャニング)し、その商品コードを自動読み取りする登録。	Scanning

4.3 キーボード

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
3001	キーボード	置数キー、部門キー、取引キー、その他の各種キーを配列した操作盤。	Keyboard
3002	プログラマブル キーボード	部門キー、取引キー、その他のキーをユーザーが自由に選択、配列できるキーボード。	Programmable Keyboard
3003	フラットキーボード (マイクロモーションキーボード)	フラットタイプのキー群の上部をシートで覆ったキーボード。メニュー・シートの差し換えを容易にしたり、防水対策をしたものもある。	Flat Keyboard
3004	モード	レジスターの各種機能(登録、点検、精算、停止など)の動作の状態。モード切り替えはコントロールロック式、またはキー操作による方式がある。	Mode
3005	コントロールロック	モードを切り替える鍵。一般的にプログラム用、登録用、点検用、精算用など複数個の鍵を持ち、所定のモードを設定した上でレジスターを操作する。 モードロックともいう。	Control Lock
3006	登録モード	売上などをレジスターへ登録するモード。	Register Mode
3007	点検モード	登録された金額及び回数などを点検するモード。 点検の範囲を全体、特定グループ、個別に指定できる場合もある。Xモードともいう。	Read Mode
番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
3008	精算モード	登録された金額及び回数などを、読み出すと同時に零に戻すモード。 精算の範囲を全体、特定グループ、個別に指定できる場合もある。Zモードともいう。	Reset Mode
3009	設定モード	レジスターの各種操作及び機能を設定するためのモード。	Program Mode

3010	訂正・戻しモード (レジマイナスモード)	取引終了後に、誤登録の内容を訂正するモード。登録された内容は、全てレジスタの売上からマイナスされる。	Void/Refund Mode (Minus Mode)
3011	管理者モード	店の管理者が、レジスタの各種の合計器やプログラムなどの保守やレポートなどを処理するためのモード。	Supervisor Mode
3012	トレーニングモード	レジスタの操作訓練に使用するためのモード。登録の点数や金額などは、売上合計には関係しない。	Training Mode
3013	自己診断モード	レジスタ各部の状態の検査や故障部分の発見などに用いられるモード。	Self-diagnostic Mode
3014	置数キー	金額の登録に使用するキー。金額の他に数量、コードなどの置数にも使用する。	Numeric Key
3015	ファンクションキー	レジスタに各種処理内容を指示するキーの総称。例えば小計、%，乗算、不可算、訂正キーなどがある。取引別キーを含む場合もある。	Function key
3016	部門別キー	商品を部門別に分類して登録するキー。	Department Key
3017	担当者別キー	レジスタ取扱い担当者を区分するキー。	Clerk Key
3018	取引別キー	各種取引を区分するキー。例えば、現金、掛売、信用売(クレジット)、入金、支払キーなど。	Transaction Key
3019	クリアキー	置数や登録など、間違えて操作したとき、元に戻すために使用するキー。	Clear Key
3020	レシート送りキー	領収紙の送りに使用するキー。このキーを押している間、領収紙は送られる。	Receipt Feed Key
3021	ジャーナル紙送りキー	記録紙の送りに使用するキー。このキーを押している間、記録紙は送られる。	Journal Feed Key
3022	シフトキー	直後に続く登録操作などを切り替えるためのキー。メニュー・シフト、単価・シフト、税率・シフトなどがある。	Shift Key
3023	ダミーキー	使用しないキーの部分を覆う蓋。ブラインドキーともいう。	Dummy key
3024	ダブル ファンクションキー	2種類の処理機能を持ったキー。	Double Function Key
3025	ステイダウンキー	押し下げられたキーを再度押すか、他のキーに押し換えを行わない限り、その状態を保つキー。	Stay Down Key
番号		用語の意味	
3026	領収紙発行／停止 スイッチ	領収紙発行、または停止するときに使用するスイッチ。	Receipt On-Off Switch
3027	コントロールパネル	レジスタの操作開始の際、モードを定めるためのスイッチ、コントロールロックなどが配置されたパネル。	Control Panel

3028	バッファリング	操作が通常の処理能力より早い場合、一時的にその操作内容を記憶し、入力順に処理すること。キー操作内容を記憶するものをキーバッファ、印字内容を記憶するものをプリントバッファという。	Buffering
3029	登録確認音	置数キーなどを押したとき、その動作が有效地に入力されたことを確認する音。	Key Depress Tone
3030	防水カバー (キーボードカバー)	濡れた手で操作するときなど、水滴を防ぐためのキーボードのカバー	Waterproof Cover
3031	タッチパネル	液晶などの表示画面に対して、指ないしはペンで直接触れることにより入力操作が可能なキーボード。	Touch Panel
3032	文字入力キー	商品名、取引名、担当者名などの文字を設置するキー。アルファベット、カナなど直接該当キーを入力する方法、置数キーにより該当文字コードを入力する方法などがある。	Character Entry Key

4.4 表示

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
4001	ディスプレイ	表示器に入力内容などを明示すること、または表示器そのものの総称。用途として、前面表示器、客面表示器がある。	Display
4002	前面表示器	取扱い者が、主に登録、合計時に入力内容や合計金額などの確認用に使用する表示器。上下首振り式、左右首振り式など、取扱い者の姿勢及び位置などに合わせて表示の角度を調整できるものもある。	Operator Display
4003	客面表示器	顧客が、取扱い者の入力状況や合計金額の確認用に使用する表示器。上下移動式(ポップアップ)、左右首振り式など、顧客の位置に合わせて最も見易い高さや角度が選択できるものがある。 また自由な場所に設置可能な機器として、リモートディスプレイがある。	Customer Display
4004	マルチディスプレイ	1台の端末で複数のディスプレイ画面を持ち、同時に同じ内容、あるいは異なった内容を表示する。 又、複数ディスプレイにまたがって1つの画面として表示することもある。	Multi Display
番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
4005	7-セグメント ディスプレイ	表示管を8の字型に7-セグメント(構成素子)で構成し、そのセグメントの組合せで、数字や記号などを表示する表示器。ドットマトリックスディスプレイに比較して、表示内容に制限がある。	7-Segment Display
4006	ドットマトリックス ディスプレイ	ドット(点)の組合せにより数字や記号だけでなく、カナ、漢字、英数字などを表示する表示器。	Dot Matrix Display

4007	状態表示	レジスタ動作状態の表示。取扱い者へのガイダンスやエラーなどを、三角マークやメッセージで示す。	Status Display
4008	ゼロ消去	不要な零の表示や印字を省略すること。	Zero Suppression
4009	CRTディスプレイ	陰極線管(ブラウン管)を使用した表示装置を用いて入力内容などを表示すること。	CRT Display
4010	LCD	液晶素子を使用した表示装置を用いて入力内容などを表示すること。	LCD

4.5 印字

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
5001	プリンタ	領収書、営業記録、及び伝票に金額や記号などを印刷する装置。	Printer
5002	キッチンプリンタ	レストランで、注文されたメニューを印刷するために、厨房に設置するプリンタ。	Kitchen Printer
5003	伝票プリンタ	伝票上に金額や記号などを印刷するプリンタ。スリッププリンタともいう。	Slip Printer
5004	食券プリンタ	レストランで注文された食券を印刷するためのプリンタ。チケットプリンタともいう。	Ticket Printer
5005	スプロケットプリンタ	歯車タイプの紙送り機能を持たせたプリンタ。	Sprocket Printer
5006	ドットマトリックスプリンタ	ドット(点)の組み合わせにより、数字や記号だけでなく、カナ、漢字、英文字なども表現可能なプリンタ。	Dot Matrix Printer
5007	ドラムプリンタ	一本の円筒上に配置された数字や記号などを使用して印刷するプリンタ。	Drum Printer
5008	活字輪プリンタ	桁毎の円筒上に配置された数字や記号を使用して印刷するプリンタ。	Type Wheel Printer
5009	感熱式プリンタ	感熱用紙又は、感熱転写リボンという特殊な用紙又はリボンを使用し、サーマルヘッドで熱を与える発色、または熱転写させ、印刷するプリンタ。サーマルプリンタともいう。	Thermal Printer
5010	パーシャルカット	領収紙の一部分をカットすること。スタブレシートに使用することもある。	Partial Cut
5011	スタブルシート	領収書(レシート)に付加して発行される半券。	Stub Receipt
5012	領収書・後発行	取引終了後、顧客の要求により、領収書を発行する機能。	Buffered Receipt Issue
5013	記録取り器	記録を巻取る装置。	Journal Paper Roller
番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
5014	印字速度	領収書や営業記録などを印字する速さ。	Printing Speed
5015	印字桁数	領収書や営業記録紙などを印字できる桁数。	Printing Capacity
5016	カッタ	領収書を切り取る装置。	Cutter
5017	オートカッタ	領収書を自動的に切り取る装置。	Auto Cutter
5018	ニアエンド検出器	ロール紙が終わりに近づいた時に、それを検出する装置。	Near End Sensor
5019	伝票検出器	伝票の挿入状態を検出する装置。	Slip Sensor
5020	領収紙	領収書用紙。レシート用紙ともいう。	Receipt Paper Roll

5021	記録紙	記録用紙。ジャーナル用紙ともいう。	Journal Paper Roll
5022	インクリボン	領収書や営業記録などの印刷に使用するインクを含んだリボン。	Ink Ribbon
5023	インクリボンスプール	インクリボン巻き取り枠。	Ink Ribbon Spool
5024	インクリボンカセット	インクリボンで交換を容易にしたもの。	Ink Ribbon Cassette
5025	インクローラ	領収書や営業記録などの印刷に使用するインクを含んだローラ。	Ink Roller
5026	店名スタンプ	店名などを刻印したスタンプ。	Logo Stamp
5027	ロゴ印字	お店の商標マークや商品シンボルマーク等、絵柄を印字する。	Logo Print
5028	インク補給装置	インクリボンやインクローラなどにインクを補給する装置。	Ink Supplier
5029	店名スタンプインク	店名スタンプに補給するインク。	Stamp Ink
5030	ゼロスキップ	点検や精算で合計が0の部分を印字させずに飛ばす方式。	Zero Data Skipping

4.6 合計器

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6001	合計器	登録した金額を積算するメモリ。	Totalizer
6002	回数器	取引の回数、客数、点数(売上品目の数量)などを積算するメモリ。	Counter
6003	合計器容量	合計器の最大桁数。	Totalizer Capacity
6004	回数器容量	回数器の最大桁数。	Counter Capacity
6005	部門別合計	商品の部門別区分によって登録された各売上の合計。	Department Total
6006	PLU(単品)別合計	PLU(単品)別商品の売上合計。	PLU Total
6007	総売上合計	値引き前の各部門別合計の総計。	Gross Sales Total
6008	純売上合計	総売上合計から値引き合計を減じた合計。	Net Sales Total
6009	税金合計	取引ごとに計算された税金の合計。	Tax Total
6010	奉仕料合計	取引ごとに計算された奉仕料の合計。	Service Charge Total
6011	値引き合計	値引き登録の合計。	Discount Total
6012	訂正合計	訂正した登録の合計。	Void Total
6013	担当者別合計	取扱い者別に合計された各取引の合計。	Clerk Total
6014	取引別合計	取引の区分によって登録された各取引の合計。	Transaction Total
番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
6015	グループ別合計	部門やPLU(単品)などをグループ別にまとめた合計。	Group Total
6016	時間帯別合計	指定された時間帯ごとの売上合計。	Hourly Total
6017	現金在高	ドロア内にあるべき現金の合計で、現金売上合計に、入金順や釣り銭準備金などを加え、支払額などを減じた金額。	Cash In Drawer
6018	日計	一日の売上合計。	Daily Total
6019	期間計	週間売上や月間売上など、ある一定期間の売上合計。	Accumulated Total

6020	部門別点数	部門別の取引点数。	Department Count
6021	PLU(単品)別点数	PLU(単品)の取引点数。	PLU Count
6022	担当者別回数	担当者別の取引回数。	Clerk Count
6023	取引別回数	取引別の引取回数。	Transaction Count
6024	一連番号	領収書や記録紙などに印刷される一連の番号。	Consecutive Count
6025	精算回数	精算するごとに積算される回数。	Reset Count
6026	課税対象額	各取引の課税対象となる金額の合計。	Taxable Total

4.7 ドロア・キャビネット

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
7001	ドロア(引出し)	レジスタで管理された現金、小切手、商品券などを収納しておく引出し。	Cash Drawer
7002	マネーケース	ドロアから取り出すことができる硬化入れ及び札入れ。	Till
7003	硬貨入れ	硬貨を入れる箱。	Coin Tray
7004	札入れ	紙幣を入れる箱。	Bill Tray
7005	札押さえレバー	紙幣を押さえるレバー。	Bill Hold Lever
7006	サブコイントレー	補充用の硬化などを入れる箱。	Sub-coin Tray
7007	マネーケースカバー	マネーケースを持ち運ぶ際、金銭が落ちないようにするための蓋。	Till Lid
7008	ドロア開放レバー	停電などでドロアを開けるときに使用するレバー。レバーでなく鍵で開けるタイプもある。	Drawer Release Lever
7009	ドロア保護錠	ドロアを開放できないようにする錠。	Cash Drawer Lock
7010	キャッシャーテーブル	海綿など小物を置く台。	Cashier's Table
7011	札受け	金銭授受時、札を一時的に置く場所。	Bill Holder
7012	キャビネット	レジスタ本体を保護・装飾するケース。	Cabinet
7013	プリンタカバー	印刷用紙(領収書、記録紙)、インクリボン(またはインクローラ)、店名スタンプなどを保護するカバー。	Printer Cover
7014	プリンタカバー錠	プリンタカバーを開放できないようにする錠。	Printer Cover Lock
7015	インクリボンカバー	インクリボン(またはインクローラ)を保護するカバー。プリンタカバーで併用する場合もある。	Ink Ribbon Cover
7016	記録窓	記録紙に備考などを書き込むときに使用する窓。	Journal Window
番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
7017	認証伝票挿入口	認証印字するための伝票の挿入口。	Validation penning
7018	ダストカバー	ちりを防ぐためのカバー。	Dust Cover

4.8 システム、周辺機器、規格・単位

4.8.1 システム

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8001	ターミナル	端末機。通信機能を持ち、ストアプロセッサ。	Terminal

		サなど上位コントローラから情報や指令を受け、それを処理したり、末端で発生した情報を処理し、上位コントローラに伝送する。	
8002	インテリジェントターミナル	高度の処理能力がある端末機。ストアプロセッサなどがなくとも、単独で店頭レベルの情報を処理し記憶できる。	Intelligent Terminal
8003	ダムターミナル	キーボード、プリンタ、表示器などを装備し、通常のPOS端末として使用されるが、端末自身はデータの処理、記憶能力がなく、全てコントローラでデータ処理される方式の端末機をいう。インターラクティブターミナルともいふこともある。	Dumb Terminal
8004	POS (Point of Sales)	販売時点情報管理装置、またはそのシステム。マスター(またはストアプロセッサ)と複数のサテライトがオンライン接続されてシステムを構成する場合が多い。主としてスキャナを装備して单品情報管理を行う。	POS (Point of Sales)
8005	PC・POS	WINDOWSファミリ、DOS、PC-UNIXなどPCアプリケーションをベースにPOSアプリケーションを搭載したPOS	PC・POS
8006	OLE・POS	WINDOWS上でサポートされるオブジェクトプログラミング技術OLE (ACTIVEX)に基づく、POSシステムを構成する関連機器を制御するための標準インターフェイス仕様のPOS。	Object Linking and Embedding・POS
8007	サテライトターミナル	POSシステムに使用される端末子機。売上げ登録を行う装置で一般的にスキャナが接続され、価格情報などを上位機からオンラインでもらって登録が行われる。	Satellite Terminal
8008	マスターターミナル	サテライトの親機(上位機)。通常サテライト機能に加えサテライトとの通信をコントロールし情報の収集、集計、レポート発行などを行う。ストアプロセッサやリモートコンピュータとの通信機能を持つ場合が多い。 PLUファイルを内蔵する場合もある。	Master Terminal

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8009	ストアプロセッサ	店舗内の販売、在庫などの情報を総合管理する装置。 POS端末機の集計データを再加工し、店舗レベルの管理レポートを作成する。	Store Processor
8010	ストアコントローラ	POS端末機の上位コントローラで、主にPLUなどの共通ファイルの制御、オンラインの回線制御などを行うもの。POSコントローラともいふ。	Store Controller

8011	サーバー	ネットワーク上でターミナルに対して各種のサービスを提供するコンピュータやソフトウェアのこと。サーバーが提供するサービスを利用する側をクライアントと呼ぶ。	Server
8012	ホストコンピュータ	システムの中核となるコンピュータ。ストアプロセッサまたはマスターの情報を収集して本部レベルの管理レポートを作成し、また本部情報を各店舗に配信する。遠隔地のホストコンピュータやVAN業者のコンピュータも含まれる場合がある。	Host Computer
8013	オンライン (屋内通信)	ストアプロセッサ、マスター、サテライトなど屋内の装置間を専用の回線を介して行う通信。 通常サテライトのデータ収集や配信などに使用される。 通信仕様に独自方式を使用したものと、凡用LANを利用したものがある。	In-House Communication
8014	VAN	付加価値通信網。通信回線にコンピュータをつなぎ、情報の蓄積・変換・処理・加工を行うようにしたネットワークの例としては、小売業と卸売業の間、売上情報の抽出・加工サービスを行うネットワークなどがある。	VAN (Value Added Network)
8015	オンライン	通信線を利用して相互に情報のやり取りを行うこと。	On-Line
8016	オフライン	通信線を介さず、フロッピーディスクや磁気テープなどの媒体(メディア)により相互(例えばホストコンピュータとストアプロセッサ間)に情報を伝達すること。また通信が途絶えた状態をいう場合もある。	Off-Line
8017	クラスタシステム	マスター(またはストアコントローラ)を中心に複数のサテライトがインライン接続されたシステム。	Cluster System
8018	マスター／サテライトシステム	マスターとサテライトターミナルで構成された最小規模のクラスタシステムを指す。	Master/Satellite System

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8019	スキャニングシステム	スキャナを装備したPOSシステム。スキャナで読んだ商品コードにより、その商品の価格情報などをファイル(例えばPLUファイル)から検索して登録するシステム。主に商品を単品管理するために利用される。	Scanning System
8020	データキャプチャ	サテライトなど複数の端末機のデータを収集すること。オンライン、オンライン、またはオフラインによる方法がある。	Data Capture
8021	レジスタ	複数のサテライトのデータを上位機に集計	Register Consolidation

	コンソリデーション	すること。収集方法にはインライン、オンライン、またはオフラインによる方法がある。	
8022	クレジットカードシステム	クレジットカードにより支払いができるシステム。信用照会には電話による方法、システムに内蔵するネガティブファイルによる方法、オンラインによる方法などがある。	Credit Card System
8023	プリペイドカードシステム	あらかじめ一定金額の入力された自社カードを会員に購入させ、買い物の都度その代金をカードから減額するキャッシュレスショッピングシステム。	Pre-paid Card System
8024	ポイントカードシステム	買い上げ額に応じて一定比率で会員にポイント(点数)を与え、会員カードまたはオンラインホストに記憶するシステム。	Point Card System
8025	デビットカードシステム	端末機を使って預金取扱金融機関の預金口座から買物代金を直接引き落として支払うことができるカード。	Debit Card System
8026	電子決済システム	商品の代金支払いを現金ではなく電子的手段によって行う方法。クレジットカードによる電子決済が最も実用化され、ネットワーク上での決済を行うためのシステム等がある。	Electronic Commerce System
8027	電子クーポンシステム	紙にプリントしたクーポンではなく電子的手段によって保存され必要な時に発行されたり、利用することができる。チェックアウト時に顧客カードに自動的にポイントを付けたり、割引処理できるシステムなどがある。	Electronic Coupon System
8028	電子ジャーナル	売上登録の記録明細を記録紙(ジャーナル)ではなく、本体又は上位に接続されたサーバー等のハードディスクやフラッシュROM、RAM等の電子記録媒体に保存することで、データの保管／保存が簡単になり、記録用紙が不要になる等省力化が図られる。電子記録媒体から画面表示／印字等で容易に出力することが可能。	Electronic Journal

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8029	2人制	売上げ商品を登録する人(チェッカ)と、代金を処理する人(キャッシュヤ)の2人で、一連の売上げ処理を行い、売上登録処理のスピードアップを実現するシステム。スーパーなど、チェックアウトが混雑する量販店で採用される場合がある。	Cheker-Cashier System
8030	フローティングキャッシュヤシステム	複数のターミナルと複数のキャッシュヤで運営する場合、各々キャッシュヤが隨時任意のターミナルを操作しても、キャッシュヤごとの売上げなどの管理ができるシステム。	Floating Cashier System
8031	ネガティブファイル	紛失や盗難届けのあったカード、または信用	Negative File

		の不確かな自社カード、クレジットカードなどのカード番号を記憶したファイル。通常POSシステムに組み込まれて使用される。単純にネガファイルと呼ぶ場合もある。	
8032	キャッシュ ファイル	キャッシュ別の売上げ／取引情報などを集計するための記憶ファイル。	Cashier File
8033	バックアップ ファイル	PLUファイルなど常時使用しているファイルが故障したときに、元の機能を維持するための補助ファイル。 通常、補助のマスタ(バックアップマスタ)または補助のストアプロセッサなどに組み込まれる。	Back Up File
8034	バッチファイル	ある時間に一括して処理(伝送やデータの加工など)をするために設けられた記憶ファイル。磁気テープ、フロッピーディスクなどにセーブした情報を指す場合もある。	Batch File
8035	メンテナンス ファイル	主(メイン)ファイルを一括して更新(変更、追加、削除など)するために、一時的に更新情報を記憶しておくファイル。用途別に変更ファイル、追加ファイル、削除ファイルという場合もある。	Maintenance File
8036	ファイル メンテナンス	ファイル情報を更新すること。メンテナンスファイルの情報によって更新する方法や、ターミナルのキーボード、カセットテープ、フロッピーディスクなどから更新データを入力して行う方法がある。	File Maintenance
8037	ターミナル IDコード	通信相手(主に屋内通信において)を認識するため、各ターミナルに割り当てられた識別番号。	Terminal Identification Code
8038	集信	オン／インラインで、データなどを収集すること。例えば複数のサテライトのデータをマスター、またはホストから屋内通信線を介して収集すること。アップロードともいう。	Up Line Loading

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8039	配信	オン／インラインで、データなどの情報を配ること。 例えば、日付やプリセットされたデータなどをマスター、またはホストからサテライトに通信線を介して伝送すること。ダウンロードともいう。	Down Line Loading
8040	ターミナルオープン	開店時、または、レジ係が作業を開始するときに、日付やレジ係の暗証番号などを入力して(サインイン)、ターミナルを動作可能状態にすること。	Terminal Open
8041	ターミナルクローズ	レジ係が作業を終了したり、閉店したときに、暗証番号などを入力して(サインアウト)	Terminal Close

		ト), ターミナルを動作不能状態にすること。	
8042	モジュラータイプ	レジスタにおいて、キーボードや表示装置、印字装置などを本体から切り離して自由にレイアウトできるようにしたものの。	Modular Type
8043	オーダーエントリー システム	レストランなどにおいて、注文品をハンディターミナルなどを使ってPOSから離れたところで登録し、その結果をPOSへデータ伝送により入力するシステム。	Order Entry System

4.8.2 周辺機器

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8101	リーダ	データ読み取り装置。例えば、バーコードリーダはバーコードのマークを読み取って電気信号に変換する装置である。	Reader
8102	ライタ	データ書き込み装置。例えば、磁気カードやICカードに更新、または追加データを書き込む装置であって、ほとんどがリーダと一体になっている。	Writer
8103	メモリ	記憶装置。情報、データ、プログラムなどを記憶するもので、ICメモリ、磁気メモリ(テープ、ディスク、カードなど)、磁気バブルメモリなどがある。ICメモリには、読み出し専用のROMと書き換え可能なRAMがある。レジスタにおいては、合計器や回数器を指す場合がある。 注) ROM : Read Only Memory RAM : Random Access Memory	Memory
8104	スキャナ	一般にJAN、EAN、UPCなどのバーコード情報の読み取り装置をいうが、OCRリーダを指す場合もある。バーコード上を走査(スキャニング)することにより読み取ることからスキャナと呼ばれる。固定式、ペン式、ワンド式などがある。	Scanner

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8105	磁気カードリーダ	磁気記憶されたクレジットカード、銀行カード、自社カードなどの読み取り装置。POS、CAT、EFTターミナルなどに内蔵されている場合がある。 MSR(Magnetic Stripe Reader)ともいう。	MCR (Magnetic Card Reader)
8106	PINパッド	顧客が、本人照合のために暗証番号を入力する小さなキーボード。	PIN Pad (Personal Identification Number Pad)
8107	モデム	変復調装置。音声などのアナログ式通信回線でデータ通信を行う場合、デジタル信号をアナログ信号に変換して通信回線に乗せ、また受信したアナログ信号をデジタル信号に変換する。	MODEM (Modulator/Demodulator)
8108	NCU	網制御装置。交換機を介して通信する交換回線とマスター、ストアプロセッサ、リモートコンピュータなどを電気的に接続／切断したり電話機との切り替えなどを行う装置。手動式(MM)、半自動式(MA)、自動式(AA)がある。	NCU (Network Control Unit)
8109	EFT	電子式資金決済、またはそのシステム。例えば買い物代金を発生した時点で、銀行口座から引き落とすことをいう。通常、磁気カードリーダで銀行カードを読み、さらにPINパッドで暗証番号を入力することにより、カードの所有者を確認して処理する。	EFT (Electronic Funds Transfer)
8110	CAT	クレジットカードの信用照会端末機。端末機自身がネガティブファイルを持って認証する方式と、クレジットカード情報をオンラインでコンピュータに送って認証する方式などがある。	CAT (Credit Authorization Terminal)
8111	EOS	電子式補充発注システム。例えば、発注用の端末機からデータを入力することによって、そのデータがオンラインで本部や配送センター、会計部門などに送信され処理される。仕入先とオンライン化される場合もある。	EOS (Electronic Ordering System)
8112	OCR	光学的文書認識。通常OCRリーダで読み取るが、人間も読むことができる字体である。値札、商品券、クレジットカード、小切手などに使用される。バーコードと併記される場合もある。	OCR (Optical Character Recognition)
8113	バーコードプリンタ	バーコード印刷装置。サーマルプリンタなどを使用してバーコードを印刷する。同時に商品名、商品の金額などを印刷する場合もある。	Bar Code Printer

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
----	----	-------	----------

8114	スケール	生鮮食品などで重量によって販売金額が異なる場合、商品の重さを計って販売するときに使用する計量器のこと。	Scale
8115	釣銭機	POSターミナルに接続する釣銭の自動支払装置。現金支払の締め操作で釣りが発生したときに自動的に釣銭を発行する。	Coin Dispenser
8116	ハンディターミナル	データ入出力用の携帯端末。例えば、受発注端末として発注データを入力リストアプロセッサなどに回線や無線にて接続し、データを収集・処理する。	Handy Terminal (Hand Held Terminal)
8117	UPS (無停電電源装置)	商用電源が停電した際に、機器に自動的に電源を供給し、機器の動作継続やデータ保護を目的とした装置。	UPS (Uninterruptible Power Source)

4.8.3 規格・単位

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8201	リモート	「距離的に離れた」、「遠隔操作の」などの意味。 リモートメンテナンス(遠隔地からのソフトウェアの修正など)(遠隔地にあるコンピュータ), リモートディスプレイなどに使われる。	Remote
8202	フラグ	情報を識別するための符号。例えばPLUファイル(商品情報ファイル)の中で特売商品を識別するために使用する。	Flag
8203	ビット	デジタル信号の最小情報単位。1ビットで2つの状態(1か0)を識別できる。Binary Unitの略。	Bit
8204	コード	符号化、または記号化された文字や数字をいう。 例えばバーコード、商品コード、顧客コードなどとして使われる。	Code
8205	マーキング	商品の管理などを目的に印をつけること。 例えば、ソースマー킹、インストアマーキングがある。	Marking
8206	ラベリング	値札や商品の管理番号が認識されているラベルを貼ること。	Labeling
8207	キャッシュヤ	レジ係(現金出納係)。業態によってはチェックまたはクラークと呼ぶ場合がある。	Cashier
8208	バーコード	数字や英文字を太さの異なる黒い線と白い線の組合せで表現したもの。スキヤナで光学的に読み取る。線の組合せは数字や英文字ごとに標準化されているとともに、標準化されたコード体系の中でソースマー킹とインストアマー킹に大別され、商品個々の識別などに利用される。	Bar Code

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8209	ソースマーキング	生産者が国別コード、商品メーカーコード、商品アイテムコードなどの商品管理番号をバーコード化して製品に印刷すること。標準コードと短縮コードがある。国別コードにより、UPCコード、EANコード、JANコードなどがある。世界共通に使用するために番号が重複しないように、日本では財団法人流通システム開発センター流通コードセンターにより管理されている。	Source Marking
8210	ベンダーマーキング	納入業者が独自の商品管理番号(商品コード、価格、その他)をバーコードまたはOCRによって表示すること。通常インストアマーキングと同じコード体系をとる。	Vendor Marking
8211	インストアマーキング	小売業者などが独自の商品管理番号をバーコードまたはOCRによって、その商品に表示すること。 価格などを含む場合もある。	In-Store Marking
8212	JAN	わが国の食品・雑貨用共通商品コード用バーコード。コード体系は、日本の国別コード(上2桁が49または45)、商品メーカーコード(5桁)、商品アイテムコード(5桁)、チェックデジット(1桁)を含む13桁で構成されている。なお、8桁で表示する短縮タイプもある。	JAN (Japanese Article Number)
8213	EAN	ヨーロッパで制定された食品・雑貨用共通商品コード用バーコード。コード体系は、国識別コード(上2桁)、商品メーカーコード(5桁)、商品アイテムコード(5桁)、チェックデジット(1桁)を含む13桁で構成されている。なお、8桁で表示する短縮タイプのものや国識別コードが上3桁のものもある。	EAN (European Article Number)
8214	UPC	アメリカ、カナダの食品・雑貨用共通商品コード用バーコード。コード体系は、ナンバーシステムキャラクタ(1桁)、商品メーカーコード(5桁)、商品アイテムコード(5桁)、チェックデジット(1桁)を含む12桁で構成されている。なお、6桁で表示する短縮タイプもある	UPC (Universal Product Code)
8215	SKU	存庫商品識別番号。部門、クラス、他の識別番号を含み、単品レベルの売上げや発注管理などに利用される。	SKU (Stock Keeping Unit)

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
8216	PLU (プライスルックアップ)	価格検査。JAN, EAN, UPCその他価格の含まれていない商品コードをスキャナで読み取り、または手入力により、そのコードに対応した商品情報(価格, 商品名, 部門コードなど)をメモリなどの記憶ファイルから検索すること。単品レベルの売上登録や在庫管理などに使われる。	PLU (Price Look Up)
8217	セーブ	メモリ情報をカセットテープやフロッピーディスクまたは空き記憶ファイルにコピーし待避することをいう。	Save
8218	ロード	カセットテープやフロッピーディスクなどの情報をターミナルやストアプロセッサなどの記憶ファイルへ書き込むこと。	Load
8219	プログラミング	プログラムを設計, 記述し, かつ試験すること。 オプション機能の選択及びプリント情報(店名など), プリセット情報(税率, 単価など), キーボードの機能などを設定することをいう場合もある。	Programming
8220	プログラマブルオプション	プログラミングにより選択できる機能。あらかじめ用意されている機能から二者択一したり, 条件設定により機能を変更できる。	Programmable Option
8221	プリセット	あらかじめデータを設定(記憶)しておくこと。商品名, 単価, 割引率, その他のデータ設定などがある。 通常プログラムモードで設定される。	Preset
8222	ポーリング	特定の通信相手を呼び出すこと。インライン(屋内通信)の場合, 通常はマスターまたはストアプロセッサが特定のサテライトを呼び出して通信が行われる。	Polling
8223	通信プロトコル	情報の送受信に関する約束ごと。送信/応答などの手順, 通信速度, 送受信情報のチェック方法, メッセージ長, メッセージの定義などを規定している。 小売業(JCA手順), 流通業, 銀行業(全銀協手順)などで独自のプロトコル(手順)を定めている。	Communication Protocol
8224	HDLC	データ伝送に使用される制御手順の1つで, ISOによって標準化が行われ, 日本においても, JISで標準化が行われている。他の伝送制御手順に比べ, 伝送する情報に制約がなく, 伝送上の誤り回復手順が優れている。 また, 伝送効率も高く, 高速, 高能率, 高信頼性が必要とされるデータ伝送に採用されている。	HDLC (High-Level Data Link Control)

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
----	----	-------	----------

8225	バッチ処理	一括処理。ある時間内のデータを一括して伝送したり、加工処理を行うこと。	Batch Processing
8226	リアルタイム処理	即時処理。データの発生時点で直ちに伝送、または加工処理を行うこと。	Real-time Processing
8227	伝送エラー	データ伝送中に外来雑音により、正しくデータが伝送されなかった状態をいう。	Communication Error
8228	タイムアウト	定められた時間内に正常な応答がない場合の処理手段。例えば、データ通信で相手を呼び出しても一定時間無応答の場合、タイムアウトとして通信を中断する。	Time-out
8229	サインオン	ターミナルオープンの時に、キャッシュが暗証番号などを入力すること。	Sign on
8230	サインオフ	ターミナルクローズの時に、キャッシュが暗証番号などを入力すること。	Sign off
8231	ロック	ターミナルはオープンされているが、一時的にレジスタから離れるときなど、簡単な操作でターミナルの動作を不能にすること。休止を呼ぶ場合もある。	Lock
8232	RS232C	シリアルインターフェースの一種でISO規格で規定されている。RS232Cはハードウェアの規格であり、通信手順は含まれない。他に、RS422、RS485などのシリアルインターフェースがある。	RS232C
8233	USB	キーボード、プリンタなどを接続する中高速のシリアルインターフェイスの規格の一種	Universal Serial Bus

4.9 その他

番号	用語	用語の意味	対応英語(参考)
9001	アラーム	誤操作、オーバーフローなどを知らせる警報。	Alarm
9002	登録時消費電力	登録操作を行っているときの最大消費電力。	Maximum Operating Power Consumption
9003	待機時消費電力	電源を入れた状態で、登録操作を行っていないときに消費される電力。	Stand-by Power Consumption
9004	記憶保持時間	電源を切った状態で、揮発性メモリに記憶されているデータを完全に保持できる時間。	Memory Holding Time
9005	サッカーテーブル	チェックアウトの際に商品を置く台	Sacker Table

電子式金銭登録機の解説

1. 改正の経緯 JBMS-18 「金銭登録機用語」は、昭和52年(1977年)11月1日に制定発行された。その後、電子技術の発展に伴い、金銭登録機は機械式から電子式に移行した。平成元年(1989年)2月10日にシステム型電子式金銭登録機用語を含めた改正を行ない、「電子式金銭登録機用語」(JBMS-18)として発行された。

しかし、近年、情報処理技術や電子技術などの更なる発展によって、システム式金銭登録機及びPOSターミナルの普及が急速に進み、従来取り上げられた用語が実態にそぐわないと認められ、JIS等を参照し、業界で使用されている用語を主体に、新規用語の追加を含めた見直しを行なった。

2. 改正の骨子 情報処理技術や電子技術の発展によって、電子式金銭登録機は更にシステム化、インテリジェント化が進んでいる。この実態を踏まえて、従来、システムの項目で一括して説明していた用語を「システム」、「周辺機器」、「規格・単位」に分類して検討した。

主な改正内容は以下の通りである。

- －業界で使用する用語を広く取り入れた。
- －「表示」の用語については、実情に合わせて新規用語として、「CRTディスプレイ」や「LCD」などの用語を追加した。
- －「印字」の用語については、「感熱式プリンタ」、「伝票プリンタ」、「食券プリンタ」等を新規用語として追加した。
- －「システム」に関する用語については、「PC POS」、「OLE POS」及び「電子ジャーナル」や電子商取引き関連用語の「デビットカード」、「電子決済」等の用語を追加して内容を充実した。

電子式金銭登録機用語

編集兼

岩 井 篤

発行人

発行所

社団法人 日本事務機械工業会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目21番19号 秀和第二虎ノ門ビル

電話 東京 (03) 3503-9821 (代表)